



おにぎり
向上委員会



株式会社 RETOWN



タイガー魔法瓶株式会社



幸南食糧株式会社

【RETOWN×タイガー魔法瓶×幸南食糧】

日本の米食文化復興を目指し「おにぎりで向上委員会」を設立

第1弾：できたてのおにぎりを食べられる「おにぎり竜」OPEN

株式会社 RETOWN（本社：大阪市浪速区、代表：松本篤）、タイガー魔法瓶株式会社（本社：大阪府門真市、代表：菊池嘉聡）、幸南食糧株式会社（本社：大阪府松原市、代表：川西孝彦）は、各社の強みを生かし「おにぎりで向上委員会」を設立いたしました。飲食店×炊飯器メーカー×お米屋さんがタッグを組むことで、様々なプロジェクトを仕掛けてまいります。第1弾の取り組みとして、できたておにぎりを提供するおにぎり店をオープンいたします。



背景：日本の米食文化の衰退

国民の主食であるだけでなく、和菓子や米菓、日本酒の原材料としても使用され、日本人にとっては欠かせない食材の一つであるお米。歴史や文化とも密接な関係を持っており、稲作の始まりにより社会（ムラ）が形成され、江戸時代には年貢としてコメが使用され、お米豊作への祈りが日本の祭りの起源ともいわれています。それだけ日本人にとって重要な存在であるにもかかわらず、日本の米食文化は年々衰退しています。

農林水産省のデータによると、お米の一人当たりの年間消費量は、昭和37年度をピークに一貫して減少傾向にあり、平成28年度にはその半分程度の54kgにまで減少しています。



資料：農林水産省「食料需給表」
注：1人1年当たり供給純食料の値である。